



平成 29 年 6 月 13 日

各 位

上場会社名 **コーセル株式会社**

代 表 者 代表取締役社長 谷川 正人

(コード番号 6905 東証第一部)

問い合わせ先 取締役経理部長 小西 有吉

T E L 076-432-8151

第 8 次中期経営計画策定に関するお知らせ

当社はこの度、2017年度から2019年度までの3年間を対象とした「第8次 中期経営計画」を策定しましたので、下記の通りお知らせします。

記

1. 中期経営計画策定の背景

当社は、「品質至上を核に社会の信頼に応える」を経営理念として掲げ、直流安定化電源の開発・製造・販売を通じて、高度化するエレクトロニクス社会に積極的に貢献していく企業でありたいと考え、事業展開に努めてまいりました。第7次中期経営計画においては、中国など新興国経済減速の影響や英国のEU離脱問題など政治的波乱の影響により、不透明な経済情勢が継続する中、当社においては品質問題や納期問題など解決すべき課題が露呈し、厳しい事業運営が続きました。一方で、当社独自のデジタル技術、通信技術を搭載した新コンセプト製品の開発により、今後新たな製品・サービスへの展開に足掛かりを築くとともに、中国生産事業や自動化設備の自社開発など、低コスト化技術力の向上に向けた活動を展開し、グローバル対応に向けた基盤づくりを図ってまいりました。

当社が属するスイッチング電源市場におきましては、経済のグローバル化によって新興国市場が台頭する中、当社の事業展開においても海外強化に向けた体制が急務になっていることや、従来以上に顧客関係性の強化が求められています。このような状況を鑑み、次へのステップへ向け、中期経営計画を策定し実行してまいります。

2. 経営ビジョン

当中期経営計画におきましては、「顧客起点のニーズを捉え、高付加価値製品とサービスを実現する」をビジョンに掲げ、一層の経営基盤強化に向け、取り組んでまいります。

3. 重点戦略、重点課題

(1) 全社連携による顧客密着営業プロセスの定着

- ・営業「販売戦略」と開発「製品戦略」と生産「ものづくり戦略」を連携・融合させ、顧客ニーズの把握から新製品開発の開発、受注・生産までプロセスへの関わりを強化することで、顧客シェアの拡大を目指してまいります。
- ・ターゲット業界、ターゲットユーザーを焦点化し、顧客起点の営業プロセスを展開することで、顧客価値の創出に努めてまいります。

(2) 高付加価値製品の開発（事業領域の拡大）

- ・マイコン技術（デジタル制御技術）を発展させ、周辺機器制御機能を搭載した直流安定化電源の開発を進めることにより、ユーザーへの高付加価値を提供してまいります。
- ・再生エネルギー関連製品の研究開発により、新たなターゲット市場・ターゲットユーザーの獲得を目指してまいります。

(3) 経営基盤の強化

- ・原材料費の低減、生産設備の自動化推進による生産性の向上により、収益力を改善し、財務体質を強化してまいります。
- ・働き方改革を推進することで、社員のやりがいを醸成し、働きやすい職場環境を築くとともに、「人財」の育成と技術・技能の向上を通して、社会の信頼に応える組織を目指してまいります。

4. 経営数値目標（連結）

- ・2020年5月期、売上高を現状の1.25倍増加を目標とします。
- ・売上高経常利益率 20%確保を目指します。

（単位：百万円）

	2017年5月期 (実績)	2020年5月期 (計画)	2017年5月期比較
売上高	22,479	28,000	+5,521 (+24.6%)
国内売上高	17,217	21,000	+3,783 (+22.0%)
海外売上高	5,262	7,000	+1,738 (+33.0%)
経常利益	3,669	5,600	+1,931 (+52.6%)
売上高経常利益率	16.3%	20.0%	+3.7p

以 上

※ 注意事項

本資料の計画数値は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって計画数値と異なる結果となり得ることを、ご承知おき下さい。